



本学新入学生の 麻疹ワクチン接種動向

羽賀将衛¹⁾、山崎朋子¹⁾、三上麻紀²⁾、
小野寺千鶴子³⁾、石田かおり⁴⁾、河上靖子⁵⁾
北海道教育大学保健管理センター¹⁾、
同旭川分室²⁾、釧路分室³⁾、岩見沢分室⁴⁾、函館分室⁵⁾

1. はじめに

本学では、平成20年4月の新入学生における集団感染を契機に麻疹対策を徹底し、大学構成員のほぼ全員が麻疹に対して免疫を有すると推測される状況を得た¹⁾。この態勢を維持するため、平成21年度以降も新入学生および新規採用職員に対する麻疹対策を継続させている²⁾。本著では、平成21年度から23年度までの、新入学生における麻疹対策の動向について報告する。

2. 対象および方法

平成21年度から、学部ならびに大学院の新入学生および編入学生全員に対して、麻疹の罹患歴の有無にかかわらず、①過去に2回以上または最近（おおむね5年以内）の麻疹ワクチン接種、または②最近の麻疹抗体検査で陽性（EIA>6.0）、どちらかを証明するものの提出を求めた。このことは、あらかじめ学生募集要項に明記し、さらに合格通知とともに文書を送付して周知の徹底を図った。①、②のいずれも提出しなかった者や、提出したが基準を満たしていなかった者に対しては、本人または保護者に直接連絡を取り、あらためて提出を求めた。①または②の証明の提出状況の調査に加えて、入学時健康アンケートから、乳幼児期の麻疹ワクチン接種の有無と、これまでの麻疹罹患歴を調査した。

これらの項目について、年齢等の条件をできるだけ均一にするため、大学院生および編入学生を除いた学部新入学生のみを対象とし、平成21年度、22年度、23年度の結果を比較した。

3. 結果

乳幼児期に麻疹ワクチン接種を受けていた者は、平成21年度入学者1,285名中1,066名（83.0%）、22年度1,291名中1,156名（89.5%）、23年度1,294名中1,145名（88.8%）であった。最近のワクチン接種については、高校3年時かつ本学の合格発表前に接種した者および浪人中で本学合格発表前に接種した者が大半で、平成21年度入学者1,039名（80.8%）、22年度1,054名（81.6%）、23年度1,035名（80.2%）であった（表1）。第4期定期接種の対象となる前の高校2年時までにワクチン接種を受けた者は、平成21年度入学者15名（1.2%）、22年度87名（6.7%）、23年度120名（9.3%）であり、21年度および22年度入学者では高校2年時に接種した者が大半であったが、23年度入学者では高校1年時の平成20年度内に接種した者が半数以上を占めた（表2）。本学の合格発表後に接種した者は、平成21年度入学者182名（14.2%）、22年度112名（8.8%）、23年度121名（9.4%）であった。最近の麻疹ワクチン接種がなく抗体検査結果のみを提出した者は、平成21年度入学者49名（3.8%）、22年度37名（2.9%）、23年度は13名（1.0%）であった。

表1 新入学生のワクチン接種の状況

	平成21年度 (n=1,285)	平成22年度 (n=1,291)	平成23年度 (n=1,294)
乳幼児期の麻疹ワクチン接種			
あり	83.0%	89.5%	88.8%
なし	17.0%	10.5%	11.2%
最近の麻疹ワクチン接種			
①高校2年時以前	1.2%	6.7%	9.3%
②高校3年時・合格発表前	80.8%	81.6%	80.0%
③合格発表後	14.2%	8.8%	9.5%
④なし(抗体検査結果提出)	3.8%	2.9%	1.1%

浪人中で本学の合格発表前にワクチン接種したものは②とした

表2 高校2年時までのワクチン接種

	平成21年度 入 学	平成22年度 入 学	平成23年度 入 学
高校2年時までのワクチン接種年度			
～平成18年度	4	4	4
平成19年度	11	11	25
平成20年度		72	68
平成21年度			23

(単位：名)

表3 麻疹に対して免疫を有すると推測できる根拠

	平成21年度 (n=1,285)	平成22年度 (n=1,291)	平成23年度 (n=1,294)
2回以上の麻疹ワクチン接種	80.7%	86.5%	85.7%
1回だが最近のワクチン接種	15.0%	8.6%	11.4%
抗体陽性	4.3%	4.6%	2.6%
なし		0.3%	0.3%

1,145名（88.8%）であった。最近のワクチン接種については、高校3年時かつ本学の合格発表前に接種した者および浪人中で本学合格発表前に接種した者が大半で、平成21年度入学者1,039名（80.8%）、22年度1,054名（81.6%）、23年度1,035名（80.2%）であった（表1）。第4期定期接種の対象となる前の高校2年時までにワクチン接種を受けた者は、平成21年度入学者15名（1.2%）、22年度87名（6.7%）、23年度120名（9.3%）であり、21年度および22年度入学者では高校2年時に接種した者が大半であったが、23年度入学者では高校1年時の平成20年度内に接種した者が半数以上を占めた（表2）。本学の合格発表後に接種した者は、平成21年度入学者182名（14.2%）、22年度112名（8.8%）、23年度121名（9.4%）であった。最近の麻疹ワクチン接種がなく抗体検査結果のみを提出した者は、平成21年度入学者49名（3.8%）、22年度37名（2.9%）、23年度は13名（1.0%）であった。

麻疹に対して免疫を有すると推測できる根拠は、2回以上のワクチン接種が平成21年度入学者1,037名（80.7%）、22年度1,116名（86.5%）、23年度1,106名（85.7%）、1回だが最近のワクチン接種が平成21年度入学者193名（15.0%）、22年度111名（8.6%）、23年度148名（11.5%）、抗体陽性による証明は平成21年度入学者55名（4.3%）、22年度60名（4.6%）、23年度32名（2.5%）であった（表3）。

麻疹の罹患歴があると回答した者は、平成21年度

入学者126名(9.8%)、22年度88名(6.8%)、23年度58名(4.5%)で、このうち、罹患歴があっても最近のワクチン接種を受けた者は、平成21年度入学者104名(82.5%)、22年度72名(81.8%)、23年度51名(87.9%)であった。

4. 考 察

WHOは2012年までに日本を含む西太平洋地域から麻疹を排除する目標を定めており、これが達成される指標の一つに2回のワクチン接種率が95%以上であることが挙げられているが³⁾、わが国の麻疹ワクチン接種率は、第1期～第4期のいずれも目標に遠く及ばない状況である^{4, 5)}。

本学では、学生および教・職員のほぼ全員が、麻疹に対して免疫を有すると推測できる状況になっているが、これは、ワクチン接種歴や抗体検査陽性の証明をなかば強制的に提出させた結果として得られたものである。第4期および第3期の接種率を上げるためには、大学や高校が新入学生に対してワクチン接種歴や抗体検査陽性の証明の提出を求める措置が有効であることは、本学の状況を見るまでもなく明らかである。本学の合格発表後にワクチンを接種した者は、もし本学以外の大学に入学していれば今回のワクチン接種を受けなかった可能性を否定できない。多くの大学および高校がこうした証明提出を求めるようになれば、第4期、第3期だけでなく第1期、第2期の接種率向上にもつながると思われる。

こうした措置以上にワクチン接種の強い動機付けになると考えられるのは、実際の麻疹の流行である。高校3年時に無料でワクチン接種を受けられるにもかかわらず、あえて高校2年時までにはワクチン接種を受けた者は、平成21年度は新入学生の1.2%であったものが22年度は6.7%に増え、23年度は9.3%に及んだ。また、21年度と22年度は高校2年時に接種した者が大半で、修学旅行に安心して行きたいという

思いが要因のひとつと考えられたが、23年度新入学生では高校1年時の平成20年に接種した者が半数以上を占め、平成19年、20年と2年連続で麻疹が流行したことが早めのワクチン接種を促したと考えられる。

しかしながら、流行が沈静化している時期にこそ、ワクチン接種率を上げ、免疫保有率を上げておかなければいけないのは言うまでもない。本学の新入生においては、最近のワクチン接種を受けずに抗体検査結果のみを提出する者の割合は年々低下しており、また、麻疹罹患歴ありと申告した者でも大半は第4期のワクチン接種を受けていることから、ワクチン接種の奨励を受け入れる下地はできつつあるのではないかと筆者は考えている。大学や高校の入学要件とすることのほかに、厚生労働省、文部科学省をはじめとする公の機関がさらに有効な手だてを示してくれることを切に望む。

5. 結 語

実際の麻疹の流行は、ワクチン接種の強い動機付けになったと考えられるが、流行が沈静化している時期にこそ、ワクチン接種率を上げるための積極的な方策が必要である。

文 献

- 1) 羽賀将衛, 山崎朋子, 甲嶋光子, 他. 今春の本学における麻疹の流行. 北海道医報. 2008;1083:40-41.
- 2) 羽賀将衛, 山崎朋子, 三上麻紀, 他. 本学における麻疹排除への取り組み. 北海道教育大学紀要(自然科学編). 2009;61(2):1-6.
- 3) 国立感染症研究所感染症情報センター. 病原微生物検出情報(IASR)月報. 2007;28(9).
- 4) 厚生労働省. 平成20年度麻疹風しん予防接種(第1期～第4期)実施状況.
- 5) 厚生労働省. 平成21年度麻疹風しん予防接種(第1期～第4期)実施状況.

電子メールによる会員への情報提供について

— メールアドレスの登録 —

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：add@m.doui.jp